

CONTENTS

- ・第10回IPUミーティング
「公立大学を取り巻く状況について」開催報告
- ・第11回IPUミーティング
「大学における著作権」開催報告
- ・第8回公開授業開催報告
- ・IPU日常的FD活動の紹介(No.7)
- ・編集後記

第10回IPUミーティング「公立大学を取り巻く状況について」開催報告



平成26年2月21日(金) 14時30分~16時, 一般社団法人公立大学協会事務局長の中田晃氏をお招きして, 本学112講義室で開催しました。事務職員等の資質向上を図るSD研修会との共催として実施され, 教職員81名が出席しました。高等教育政策の背景となる18歳人口並びに高等教育機関への進学率の推移や, 公立大学に係る政策などをふまえ, 制度改革から機能充実の時代に入っていることがわかりやすく解説されました。また公立大学の未来を考えるにあたり, 公立大学独自による大学評価が最重要課題であることにも言及され, 大変有意義な機会でした。

第11回IPUミーティング「大学における著作権」開催報告



平成26年2月26日(水) 13時10分~14時40分, 一般社団法人日本著作権教育研究会事務局長の内田 弘二氏をお招きして, 本学112講義室で開催し, 教職員59名が出席しました。著作権制度について国内外の状況をも含めて概説された後, 著作権法第35条の趣旨や適用などについて具体事例に基づいて解説がなされました。日頃, 条文をつぶさに確認する機会はないため, 対面授業やeラーニングなど多様な授業方法における著作権法上の留意点や, 引用や入試問題の作成に係る基本的事項等について, 全学的に共通理解を深める貴重な研修会となりました。

「第8回公開授業」開催報告



平成 26 年 1 月 29 日 (水) 13 時 10 分～14 時 40 分、143 講義室において、必修科目『人間の行動と健康』(受講者数は看護学科2年生 58 名) で公開授業が開催され、教職員 9 名が参加しました。今回の授業では、クリッカーを活用した教授方法を参観しました。本学では、まだクリッカーを導入している授業はごく限られています。学修効果や操作方法等を確認することができれば積極的に使用してみたいと考えている教員は多く、今後もこのような相互参観を通じて、さらに効果的な教授方法を追究していきたいと思えます。事後検討会でのディスカッションでは、30 分間という限られた時間ではありましたが、授業実施者も含め 9 名が参加し、感想を述べ合うなど意見交換をしました。

●IPU日常的FD活動の紹介(No.7)●

人間科学センターの日常的FD

(人間科学センター嘱託助手 庄司俊之)

FDと言うと、定期的に講演会や研修会を実施するといったイメージがあるのではないだろうか。あるいは近年では、文科省の主導のもと、評価などの業務が増え、従来の教育環境からすれば少々窮屈になったとの印象も拭いがたくあるに違いない。しかし、言われなくても教員たちは日々教育改善のための努力をしているのであって、それを支援することがFDの重要なポイントのひとつでもあるという。というよりも、もし日々の努力がないのであれば、どんな研修にも殆ど効果がないとさえ言えるのではないか。

茨城県立医療大学、とくに人間科学センターに所属していると、専門科目と教養系基礎科目の違いや科目ごとのギャップなどを強く感じる。そこには教員が孤立してしまうリスクがあると同時に、反省と自己理解を深めるチャンスもあるに違いない。とある先生にFDについての考えを伺ったところ、「結局は人でしょう。」との答えが返ってきた。「人間科学センターの教員はよく話し合ってるほうではないでしょうか。」とも。人間科学センターのFDは、目下このような「日常的FD」によって支えられていると言えるようだ。

編集後記

今年度は、第4次カリキュラムやGPA制度など、何かと新しいこと尽くしの1年でした。このような中、FD企画運営部会によるFD活動は、多様なテーマを取り上げ、全学FD研修会や公開授業のほかに、年6回ものIPUミーティングを開催することができました。ご協力くださいましたすべての皆様に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(FD企画運営部会長 富田美加)